

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全スタッフで話し合い、当グループホーム独自の理念を決めている。毎年のテーマも話し合いで決めている。	○	地域密着型サービスとしての役割を考え、果たせるような内容の理念に変えていく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやカンファレンスで、理念に基づいた具体的なケアについて話し合っている。	○	今後も、常に理念を念頭に置いてミーティング等を進めて行く。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	月1回「ふれあい通信」という事業所便りにて、家族や地域の方々に伝えている。	○	今後も、お便りなどで具体的に伝えていく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時には近隣の方々とお話ししたり、農作物のおすそわけのため訪問していただくこともある。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者とスタッフが一緒に、地区の清掃や行事に参加したり、地域の子どもたちやボランティアさんに訪問していただいている。	○	こちらから地域に出て行く機会をもっと増やしたい。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	月一回発行している「ふれあい通信」という事業所便りの中に、「介護ワンポイント」という介護に関する情報項目を設け、地域に向けて発信している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全スタッフで行っている。外部評価の結果は全員に報告し、改善に向けての話し合いをして、できるところから改善している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	会議では、ふれあいの家の現状や取り組み状況を報告し、そこで頂いた意見を参考にしてサービス向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外では、あまり行き来する機会がない。	○	今後は市町村との連携をもっととるようにしたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や一部職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学んでいる。	○	学ぶ機会を持つようにする。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法を取り上げての勉強会は、開催したことがないが、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	○	学ぶ機会を持つ。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分な説明を行い理解・納得を図っている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者の言葉を意見としてとらえ、ミーティングにて全スタッフで話し合い、対応を考えている。	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	家族の来訪時に利用者の状況を伝えたり、月1回のお便りで手紙や写真で伝えている。また状態の変化時なども、その都度電話にて伝えている。	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族会はないが、家族からの意見・要望・不満などは気軽に伝えてもらっている。それらをミーティングで話し合い、今後のケアや対応に反映させている。	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	職員の意見や提案を随時聞くようにしている。	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	必要な時間帯に必要なスタッフ人数を確保している。急な変化にも対応ができる人員配置になっている。	

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニットのスタッフは固定化され、基本的には異動はほとんどない。異動があった場合や、新しいスタッフが入った時は、利用者にきちんと説明・紹介をしている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員に対する研修計画はあるが、段階別の育成計画に関しては現在検討中である。社内の研修や外部研修への参加を勧めている。</p>	○	<p>段階に応じて育成するための計画を立てる。</p>
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者と交流する機会を持ち始めたばかりである。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的実施している個人面談で悩みを救い上げたり、日頃から話しを聴くように努めている。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個々に年間の目標を決めてもらい、個人面談で達成状況の確認、フォローアップに努めている。</p>		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人自身から聴く機会をつくるのは難しい。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からは困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居後は、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・個々の訴えや要望に耳を傾けるよう心がけている。	

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が来訪された時、悩みや要望を聞くよう心がけている。 ・ふれあい通信、お便りを写真付きで送り、日常生活の様子を伝えている。 		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との外出や、外泊等があまり実施できていない。 ・毎月手紙をホーム側から書き様子を報告し行事にも参加してもらうよう声掛けしている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1度でもいいから、ご家族との外出、外泊が可能になるような働き掛けをしていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前から、かかりつけの主治医との関係が保たれている。 ・ホームに昔からの知人が尋ねて来る。 		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが間に入り、利用者同士が会話を一緒にしながら過ごせるような場面作りができています。 ・トラブル発生時は、長く続かないよう心がけ、一人ひとりの話に耳を傾けるよう心がけている。 		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> ・退去した後の支援を行っている。（他施設への問い合わせ等） 		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の関わりの中で、声を掛け、入居者の言葉や言葉にしづらい思いを日々の行動や表情から汲み取り把握に努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・家族に本人のバックグラウンドに関する情報の大切さを伝え、小さな事柄でも伝えて頂き、本人の生活歴を知るよう努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・生活、心理面の視点などから、できることを継続してやっていくよう努めている。又、一人ひとりの生活のリズムを把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・月1度のカンファレンス、ミーティングで話し合いの場を設け意見を出してもらい、介護計画書を作成している。(事前に個々にモニタリングをしてもらっている)	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画書は3ヶ月に1度現状に即した見直しをしている。	○ ・介護計画の期間に関わらず、変化が生じた場合は現状に即した計画を作成する。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の暮らしの様子や本人の言葉などのほか、ケアプランについても記録するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症対応の居住環境や職員の機能を活かして、デイサービスを実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方が訪問してくれたり、地域のボランティアの方々が定期的に訪問してくれている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域で開催される健康教室に参加したりしている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議には、地域包括支援センターの職員に参加いただいているが、連携を図るところまではいっていない。	○	今後は、地域包括支援センターとの連携を図り、地域資源ネットワークの拡充に努めていきたい。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設へ移る際には、十分な話し合いや情報交換を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・声掛け等に注意し、さりげない声掛けや対応を行っている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人の思い希望に応えられるようにしている。 ・応えるのが困難な時は、その理由を伝え了承を得ている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・体調に配慮しながら一人ひとりのペースに合わせて支援している。 ・買物や散歩なども一人ひとりの状態や思いに配慮し対応している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・買物など一緒に出掛け選んで頂いているが一部の人に限られている。	○	・多くの人と、個々の希望の買物に出かける様にしていきたい。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理、配膳、下膳を共に行き、スタッフも同じテーブルで同じ食事を一緒に食べている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・スタッフは一人ひとりの嗜好物を概ね理解しており、食事に出た際は改めて声を掛けるなどしている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・時間や習慣を把握し、トイレ誘導しトイレでの排泄を促している。又、排泄チェック表も使用し尿意の無い方でも見計らって誘導しトイレでの排泄を促している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴したい日、したい時間に入浴して頂いている。又、拒む人に対しては、スタッフが交代したり、言葉かけの工夫をして一人ひとりに合った支援をしている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・日中の個別の疲れ具合に合わせて個別に休息を取り入れている。又、寝つけない時には温かい飲み物を出し、会話などしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・一人ひとりの得意分野で力を発揮して頂けるよう、お願いできそうな仕事を頼み、一緒に行い感謝の言葉を伝えている。		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・職員は本人がお金を持つことの大切さは理解しているが、現実には金銭管理ができず、職員側で行っている。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・散歩やその季節の物を見に出掛けたりと支援している。</p>	○	<p>・個々に合った外出をもっと多く取り入れていきたい。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>・季節に合った物を見に行ったりしている。 ・個別、他利用者と出かける機会をつくれている。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>・本人が電話したい時は自由にかけて頂いている。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>・訪問時間等定めておらず、いつでも来て頂けるような配慮をしている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>・身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・日中や夜間、居室の鍵を閉めて入ってしまう方もいるが、さり気なく外側から外すようにしている。 ・施設は交通量の多い道路に面しており、交通事故防止、及び不審者侵入防止の為もあって、死角となる玄関の鍵だけはかけている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の見守りや、センサーの活用などで検討していきたい。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは常に全体を見渡せる位置におり、さり気なく全員の状況を把握する様に努めている。又、夜間も数時間ごと確認し、すぐに対応できる所にいるようにしている。 		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況変化に合わせて、注意を促していくなどケースに応じた対応をしている。 		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状態から予測される危険を検討し事故を防ぐための工夫に取り組んでいる。 ・ヒヤリハットの記録を徹底しスタッフ同志共有を図っている。 		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署の協力を得て、研修を実施し、全てのスタッフが対応できるような場は設けている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にミーティング等で対応の仕方を確認していくようにすることにより身についていくことができる。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署の協力を得て、研修を実施し、全てのスタッフが対応できるような場は設けている。 ・マニュアルを作成してある。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にミーティング等で対応の仕方を確認していくようにすることにより身についていくことができる。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・日々の様子、受診後の様子など家族に連絡し意向を聞いている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・早期発見し、看護師に連絡をしたり、受診をするなど、早めの対応に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬は本人に手渡したり、服用できているかを飲み込むまで確認している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・個々の状態に合わせ、主治医と相談しながら行ったり、繊維質の多い食材や乳製品を取り入れたりしている。 ・毎日、体操などで体を動かしたりしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後の口腔ケアは声掛けを行い、スタッフが見守り介助を行っている。 ・週1回の義歯消毒も実施している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事にムラがある入居者の食事量チェックをしている。 ・水分不足の人には声を掛け、飲み物を変えたりしながら対応している。	○	・一人ひとりの嗜好を把握し献立に活かしたい。

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・入居者、及びスタッフはインフルエンザ予防接種を受けている。又、ペーパータオルも使用しており予防も徹底している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・まな板、包丁、台拭きは毎晩漂白し清潔を心がけている。 ・冷蔵、冷蔵庫の食材の残りの点検はこまめに行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関先でくつろげるスペースを確保している。 ・花などで、季節感も出しており、入居者のご家族に頂いた名前入りの看板もかけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・トイレには花やカレンダーを飾り、リラックスできるように工夫している。 ・フロアには緑を沢山置いたり、季節感に合わせた飾り物を一緒に飾っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・階段の踊り場にイス、ソファ、テーブルを置き、様々な場面でくつろげるよう工夫をしてある。 ・ホールについで立てを置いたり、テーブルの位置を工夫したりと仲の良い入居者同志でくつろげるようなスペースを作っている。		

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・自宅で使用していた馴染みの物などを 持って来て頂き、居心地の良さに配慮 している。又、家族の写真なども飾っ てある。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	・フロアは一定の時間帯に換気をして おり入居者の声を聞きながら、冷暖房 の調整をしている。 ・トイレは換気扇と消臭剤を使用し悪 臭の出ないようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した 生活を送れるように工夫している	・フロアの洗面台、鏡は身体機能が変 化しても見ることが出来たり使用可 能。 ・てすりはホール全てについており、 つかまっでの歩行をしている。	○	・居室の鏡の高さが車椅子の方や背 の低い方は見えない。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	・一人ひとりの目線に合わせたネーム プレートをかけてある。 ・本や遊ぶ道具は位置を変えず自由 に出し入れできるように工夫してい る。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活かし ている	・玄関先にベンチを置いて涼んだり、 日向ぼっこができるようにしてあ る。 ・花も自分達で植え水やりをしてい る。	○	・2階はベランダが無く活かすことが 出来ず。 ・天候の良い日は洗濯物を外に出し たい為、スペース確保。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

ツクイ松本西ふれあいの家・しらかば

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ② <small>○</small> 少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が ② <small>○</small> 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ② <small>○</small> 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ② <small>○</small> 家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

人生のラストステージと言っても良いGHでのひと時を、どう過ごしてもらうのか？何をすればいいのか？何ができるのか？入居者様には、不快で不愉快で悲しい思いをするより、爽快で愉快で楽しい思いをたくさんしてほしい。うれしい！楽しい！よかったあ！って思いをいっぱい抱いて旅立ってほしい。こんな思いを根本に据えた実践をしています。